

カタールのタクシーについて

現在カタールでは、国営交通会社ムワーサラート社の運行するカルワ・タクシーの他、数社がタクシー営業を行っております。

基本的にはメーターを設置、集中管理しており、比較的安心して利用することができます。市内やショッピングモールでは違法タクシー（いわゆる白タク）が客引きをしている場合がありますが、様々なトラブルの原因となりますので利用しないで下さい。

【連絡先】

カルワ・タクシー	4 4 5 8 - 8 8 8 8	（呼出し料：4 QR）
アル・ミリオン・タクシー	8 0 0 - 5 5 0 0	（電話無料、呼出し料：4 QR）

一部の悪質ドライバーによるメーターの改ざん等が報告されておりますので、十分ご注意ください。また2012年から数社のタクシー会社が参入したことから、ドライバーが不足し、市内の地理をほとんど知らない外国人ドライバーも多数見受けられます。

なお、ガイドブック等に住所として「POB」、「P. O. Box」等が記載してある場合がありますが、これは郵便局の私書箱番号ですので、行き先をドライバーに告げる場合は、詳しい場所や、大きな目標を説明する必要があります。

【悪質ドライバーの主な手口】

- 市内料金と市外料金の差額を利用した請求。この制度を利用してドライバーは市内料金にもかかわらず、市内：インサイド料金メーター（i）を押さずに、市外：アウトサイド料金メーター（o）を押して、高めに料金設定する。
- 効率を高めるために繁忙路線のみを対象にシャトル運行。運転手が、乗客に対して「事前交渉で決まった額」を請求。レシートを発行せず、またメーターもそのままにして次の乗客と同じように交渉し、どんどんメーター金額を高めていく。このような手口を行うために、目的地以外への乗車を拒否する場合がある。
- 固定料金での運行。乗客がメーター・スイッチを押すよう要求すると、運転手から降車するよう言われる場合がある。
- （主に夜間、単独の女性客に対して）メーターを倒さずに発車。目的地の途中で停車し、ドアをロックした上で、料金の支払いを請求。目的地近くになると再度停車し、さらに金を請求するというもの。

※ 平成24年（2012年）7月9日当地報道によれば、ムワーサラート社は、「多くのお客様から、運転手がメーターを倒さないとの苦情をいただいております。もし運転手がレシートの発行を拒否するようであれば、お客様は料金を支払う必要はございません。」とのコメントを出しています。しかしながら平成25年（2013年）4月22日の当地紙は、客からの苦情に対してタクシー会社は真摯に対応していないと報じています。



シルバーの屋根
カルワ・タクシー



えんじ色の屋根
アル・ミリオン・タクシー



ブルーの屋根
アル・イジャーラ・タクシー